

島田市田代地区の自然環境保全対策 PR ～ エモマップ制作の活動を通した情報発信 ～

事業担当者

経営学部 経営学科 山田 雅敏（研究代表者／情報学ゼミナール）

経営学部 経営学科 4年 伊藤遼也（学生代表），根上麗音（学生副代表），他，3名

目的・概要

本研究は島田市田代地区の自然環境保護対策に関して、エモマップを制作することにより可視化し、SNS やホームページを利用して PR することを目的とした。ここで、エモマップの「エモ（い）」とは、emotional（エモーショナル）に由来し、「感情が動かされた状態」という意味を持つ若者ことばである。同地区の自然環境保護対策のストーリーについて「エモい」を表現するために、若者に人気が高まるレンズ付きフィルム「写ルンです」を使用して撮影を行った。またエモマップを制作するにあたり、島田市地域生活部環境課の協力をはじめ、島田市民へのインタビュー調査や、市在住のイラストレータ・デザイナーが、本学経営学部の情報学ゼミナールと連携し実施した。

事業成果

エモマップ制作の活動は、島田市の公式 Facebook や常葉大学公式ホームページにより情報発信された他、3月末には島田市長の表敬訪問も実施され、その様子が新聞紙面に掲載されたことから、田代地区の自然環境保全 PR に関して一定の効果があったことが示唆された。

今後の課題として、エモいという感覚的な事象は、言葉に表現し難い暗黙知的性質を持つ場合が多く、言語化やイラスト化の段階で修正作業が発生したことが挙げられる。また、田代地区には地球環境に優しいエネルギーを目指す田代環境プラザや、温泉施設や多目的スポーツ・レクリエーション施設が多くあり、これらの施設に関する情報を積極的に発信することで、環境との調和がとれた自然豊かな里山としての田代地区の認知が促進されると考えられる。



「写ルンです」による撮影と調査風景



島田市長への表敬訪問の様子